

平成 26 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイキアキシ
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 大 亀 裕
(コード番号：4245 東証第二部)
問合せ先 D・O・i・L 営業部 丸岡 正宜
(TEL：089-927-1140)

セブン-イレブンの愛媛県内初出店に合わせ、県内同店舗より排出される
使用済み食用植物油をダイキアキシが回収することとなりました

株式会社ダイキアキシ（代表取締役社長兼CEO：大亀裕/愛媛県松山市/以下 ダイキアキシ）と株式会社セブン-イレブン・ジャパン（代表取締役社長兼COO井阪隆一/東京都千代田区/以下セブン-イレブン）は、愛媛県内のセブン-イレブン店舗や専用工場から発生する使用済み食用植物油（以下 廃食用油）をダイキアキシで行っているバイオディーゼル燃料事業における燃料製造または、再生資源の原料として利用することを目的として、使用済み食用植物油の引き取りに関する契約を締結し、2014年3月1日より、全国初の試みとなる食品循環資源の再生利用の回収システムを稼働いたしました。

ダイキアキシが取り組む本回収システムについてセブン-イレブンに賛同いただき、この度の愛媛県内初出店（3月1日3店同時オープン）のタイミングに合わせて、契約締結に結び付いたものです。回収運搬は専用車両にて当社が直接行い、各店舗で保管されている廃食用油を定期的に回収し、最終的に燃料精製プラントのある当社のD・O・i・L松山事業所（松山市北吉田町）に集められます。セブン-イレブンは、2013年3月より、香川県と徳島県を皮切りに2019年2月までに四国4県で590店舗（内、愛媛県は累計約200店舗）の出店を計画しています。

この度のセブン-イレブンからの回収によって、安定的にバイオディーゼル燃料の原料確保ができることとなり、ダイキアキシの高品位バイオ燃料「D・O・i・L N」および「B5軽油※」を更に拡大供給することが可能となり、四国全域を対象とした普及拡大を図る計画です。

※バイオ燃料混合軽油「B5」

バイオディーゼル燃料を5%混合した軽油を「B5」と呼びます。「揮発油等の品質の確保等に関する法律」で規定されている強制規格を満たした「B5」は、軽油と同様に安全かつ安心してご使用いただけます。

ダイキアキシは、バイオディーゼル燃料事業において、愛媛県や同県内市町と連携し、“地産地消”による地域循環型リサイクルシステムの構築を目指し、県が推奨する「エコえひめ・ストッピーポイント事業」を活用して廃食用油の市民回収に協力しています。また、国内最大手のホームセンターグループ：DCMホールディングスのダイキ株式会社が出店している愛媛県内33店舗に回収BOXを設け、2014年3月より、環境創造開発企業として積極的に廃食用油をもっと活用するプロジェクト「油〜モア プロジェクト」を推進しています。

【エコえひめ・ストッピーポイント事業】

<http://www.pref.ehime.jp/kankyoku/k-hp/theme/ondanka/eap/>

【油〜モア プロジェクト】

<http://www.daiki-axis.com/baio/doil-news/>

以上